



## 2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年8月10日

上場会社名 株式会社ホクリヨウ

上場取引所 東

コード番号 1384 URL <https://www.hokuryo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米山 大介

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 松岡 昌哉

TEL 011-812-1131

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日 未定

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	3,977		270		290		209	
2022年3月期第1四半期								

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	24.77	
2022年3月期第1四半期		

1. 2022年3月期第1四半期は連結業績を開示しておりましたが、2022年3月期第3四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2022年3月期第1四半期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	15,463	10,228	66.1
2022年3月期	15,549	10,154	65.3

(参考)自己資本 2023年3月期第1四半期 10,228百万円 2022年3月期 10,154百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		15.00	15.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,612	8.2	271	69.1	392	58.3	227	80.9	26.87

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	8,459,000 株	2022年3月期	8,459,000 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	48 株	2022年3月期	48 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	8,458,952 株	2022年3月期1Q	8,458,952 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は2021年10月1日付で当社の完全子会社であった株式会社第一ポトリーフームを吸収合併（簡易合併・略式合併）したことに伴い、前第2四半期連結累計期間までは連結決算でありましたが、前第3四半期累計期間より非連結決算へ移行いたしました。上記により前第3四半期累計期間より連結財務諸表を作成していないため、比較分析は行っておりません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における日本経済は、年末から急拡大したオミクロン株の感染が4月以降一段落し、飲食業、観光業、輸送業にも明るい兆しが見え始めた一方、2月24日から始まったロシア軍によるウクライナ侵攻の影響を受け世界的に食料、エネルギー価格が急騰、景気回復に深刻な影を落としています。

鶏卵相場は、2020年末以降感染が全国に広がった鳥インフルエンザに伴い淘汰された1,000万羽近い採卵鶏の再導入が進み、本州の鶏卵相場は低迷しております。一方道内においては4月に白老町で鳥インフルエンザ感染が確認され52万羽の採卵鶏が淘汰されたことから相場は上昇、この結果第1四半期（2022年4月1日～2022年6月30日）における鶏卵相場の北海道Mサイズ平均は1キロ246円67銭（前年同四半期比6円59銭安）、東京Mサイズ平均は1キロ214円16銭（同38円87銭安）となりました。

鶏卵生産コストの6割を占める飼料価格はロシアのウクライナ侵攻に伴うトウモロコシシカゴ相場の急騰に円安が加わり、当第1四半期も1トン4千円を超える値上げとなりました。

当社は飼料価格の高騰に対処するため鶏卵販売価格の改定に注力しました。当第1四半期の業績は、飼料価格、電気料、燃料費、資材価格の高騰を販売価格の改定である程度カバーしたこと等から、売上高は3,977百万円となり、営業利益は270百万円、経常利益は290百万円、四半期純利益は209百万円となりました。

なお、ロシア軍によるウクライナ侵攻は終結の兆しなく、これに伴う世界的なインフレ傾向には歯止めがかかっておりません。これに加え為替及び7月に確認された新型コロナウイルス感染第7波の今後の動向によっては当社の経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産

当第1四半期会計期間末における資産合計は前事業年度末に比べて86百万円減少し15,463百万円となりました。

流動資産は前事業年度末に比べて33百万円減少し3,813百万円となりました。これは、主として現金及び預金が429百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が124百万円、その他が268百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

固定資産は前事業年度末に比べて52百万円減少し11,649百万円となりました。これは、主として有形固定資産の建物が106百万円、機械及び装置が354百万円増加した一方で、有形固定資産のその他が292百万円、投資その他の資産が262百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

#### ②負債

当第1四半期会計期間末における負債合計は前事業年度末に比べて160百万円減少し5,234百万円となりました。

流動負債は前事業年度末に比べて35百万円減少し3,373百万円となりました。これは、主として買掛金が137百万円増加した一方で、電子記録債務が69百万円、未払法人税等が47百万円、賞与引当金が64百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定負債は前事業年度末に比べて125百万円減少し1,861百万円となりました。これは、主として長期借入金が124百万円減少したこと等によるものです。

#### ③純資産

当第1四半期会計期間末における純資産合計は前事業年度末に比べて74百万円増加し10,228百万円となりました。これは、主として利益剰余金が82百万円増加したこと等によるものです。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今期の業績予想については5月13日の決算公表時に発表した業績予想から修正はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,849	1,420
受取手形及び売掛金	1,359	1,483
商品及び製品	94	104
仕掛品	15	14
原材料及び貯蔵品	166	160
その他	362	630
貸倒引当金	△0	—
流動資産合計	3,847	3,813
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,838	6,944
構築物（純額）	352	392
機械及び装置（純額）	1,259	1,614
車両運搬具（純額）	20	25
土地	1,355	1,355
その他（純額）	809	517
有形固定資産合計	10,636	10,849
無形固定資産	77	75
投資その他の資産		
投資有価証券	473	462
関係会社株式	180	—
その他	333	261
投資その他の資産合計	987	724
固定資産合計	11,701	11,649
資産合計	15,549	15,463
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,253	1,391
支払手形	—	23
電子記録債務	263	194
1年内返済予定の長期借入金	531	511
未払法人税等	170	122
賞与引当金	121	57
役員賞与引当金	34	—
その他	1,032	1,072
流動負債合計	3,408	3,373
固定負債		
長期借入金	1,597	1,472
退職給付引当金	146	150
役員退職慰労引当金	83	85
資産除去債務	76	76
その他	82	76
固定負債合計	1,986	1,861
負債合計	5,394	5,234

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,055	1,055
資本剰余金	754	754
利益剰余金	8,208	8,291
自己株式	△0	△0
株主資本合計	10,017	10,100
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	136	128
評価・換算差額等合計	136	128
純資産合計	10,154	10,228
負債純資産合計	15,549	15,463

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	3,977
売上原価	3,234
売上総利益	742
販売費及び一般管理費	472
営業利益	270
営業外収益	
受取配当金	6
仕入割引	5
受取賃貸料	7
その他	3
営業外収益合計	23
営業外費用	
支払利息	0
賃貸費用	2
営業外費用合計	3
経常利益	290
特別利益	
保険解約返戻金	65
受取保険金	5
特別利益合計	70
特別損失	
固定資産除却損	29
その他	1
特別損失合計	30
税引前四半期純利益	330
法人税等	120
四半期純利益	209

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社は、「鶏卵事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。